

令和2年10月27日

天栄村教育委員会
教育長 久保直紀様

天栄村立小中学校統合委員会
委員長 天野和彦

天栄村立小中学校の統合についての意見書

令和2年2月20日に天栄村立小中学校のあり方検討委員会が示した答申に基づき、天栄村立小中学校統合委員会（以下統合委員会）を立ち上げ、3回の委員会を開催してきました。統合委員会では、天栄村立小中学校の適正規模、適正配置のための具体的な方策として、校舎・校地環境の整備、学校運営支援体制の整備、放課後の居場所の確保、保幼小中の連携や接続を含めた望ましい学習環境の整備等、子どもたちのよりよい教育環境について検討を重ねてきました。

その結果、下記のとおり意見をとりまとめましたので、その趣旨をご理解いただき、実現に努めていただきますようお願いいたします。

記

- 1 統合新校の整備については、新校舎を建設すること。
- 2 統合新校の学校づくりの理念と方針については、次のことを踏まえた内容とすること。
 - (1) 学校づくりの理念は「持続可能な活力ある学校づくり」とする。
 - (2) 学校づくりの方針
 - ① **安心・安全に学習、生活できる学校づくり**
 - ・ 様々な災害に対して強く、避難所・防災倉庫の機能を考慮した施設
 - ・ 不審者の侵入を防ぐ防犯対策のしっかりした施設
 - ・ 熱中症対策のしっかりした施設
 - ・ バスや送迎時にも安全に乗降できるスペースのある施設
 - ・ 教職員の目が届く教室、職員室や校長室から校庭が見渡すことのできる施設
 - ② **学ぶ楽しさ教える喜びが実感でき、教育環境や社会状況の変化に対応できる学校づくり**
 - ・ さまざまな学習形態に対応できる施設
 - ・ 十分な運動ができるゆとりある広さの校庭と体育館
 - ・ 湯本小学校をはじめ学校外といつでもオンライン交流授業、遠隔授業ができるICT環境
 - ・ いつでも「調べ」「学ぶ」ができる図書室を有する施設

- ・ 特別支援教育に配慮した施設
- ・ 英語の学習が楽しくなる専用の教室がある施設
- ・ 地域の歴史や伝統、文化、地域とのつながりを継承できる施設
- ・ 自然エネルギーを活用し、環境とのつながりを意識できる施設

③ 明日また行きたくなる健康で快適な学校づくり

- ・ 広々としたゆとりある開放的な構成の施設
- ・ 自分の気持ちを出せる、ホッとできる空間、居場所のある施設
- ・ 地元の木をふんだんに使ったぬくもりある施設
- ・ 異学年間交流を促す交流スペースのある施設
- ・ 感染症、熱中症に適切に対応できる施設

④ 地域とつながり共に学び活動できる学校づくり

- ・ 湯本小学校・幼稚園・保育所・中学校との交流活動を積極的に進めることのできる施設
- ・ バリアフリーに配慮し、誰もが使いやすいような配慮された施設
- ・ 集会施設や活動室、放課後子ども教室、子育てひろばなどとして活用できる地域に開放された施設
- ・ 地域人材、見守り隊、学習支援ボランティアが参加しやすいよう配慮された施設

3 統合新校の建設位置については、役場周辺もしくは、天栄中学校と近い位置とすること。

4 学校運営支援体制については、コミュニティ・スクールを基盤とし、地域と協働・連携した学校運営が図れるようにすること。

5 放課後の居場所の確保については、放課後児童クラブ、放課後子ども教室等を統合新校の敷地内に設置すること。

6 保育所・幼稚園の教育環境整備については、次のとおりとする。

- (1) 保育所と幼稚園を同一敷地内に設置すること。
- (2) 統合新校、天栄中学校双方から近い位置に設置すること。
- (3) 設置については、幼保一体化としての認定こども園も含め、保護者、地域の意見等を考慮して決定すること。

7 統合後の校舎、敷地の利用については、地元の要望に配慮し、有効活用を検討すること。